

「令和6年度『自立した学習者』を育成するための授業改善チェックシート」について

令和6年度「自立した学習者」を育成するための授業改善チェックシート

村山教育事務所指導課

全ての子どもが確かな学力を獲得し、生涯にわたって学び続ける自立した学習者になるために、私たちの児童生徒観・教育観を転換し、一人一人の子どもを主語にした授業改善を行うことが求められています。「個別最適な学び」と「協働的な学び」の観点から学習活動の充実の方向性について改めて捉え直し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を進めていく上では、学習指導に「生徒指導の実践上の視点」を生かすことが不可欠です。

自己存在感の感受

自分一人の人間として大切にされていると感じる

自立した学習者になる

確かな学力
を獲得する

知識及び技能
思考力、判断力、表現力等
学びに向かう力、人間性等

共感的な人間関係の育成

自他の個性を尊重し、相手の立場に立って考え行動できる

教科の本質に迫る単元、題材構想

- 子どもが各教科等の特質に応じた見方・考え方を働かせ、深い学びに至る学びの過程を想定した単元や題材を構想する。
- 子どもが、対話によって自分の考えを広げたり深めたりする場面を設定する。

ICTを活用した学びの環境整備

- 子どもが学習の見通しを立てたり、自分に合った多様な方法で学習を進めたりする環境を整える。
- 子どもが、級友や時間的・空間的制約を超えた多様な他者と協働する環境を整える。

指導と評価の一体化による指導方法の工夫・改善

- 子どもがつまづきを克服し、資質・能力を獲得した具体的な姿を想定した評価規準を設定し、適切な支援を行う。
- 子どもが、単元を通して獲得を目指す資質・能力を自覚し、学習に取り組むことのできる評価を行う。

自ら学びを調整する振り返りの充実

- 子どもが自分に合った学習の進め方を考える振り返りの機会を充実させる。
- 子どもが学び直しや発展的な学習を行うことができる教材や学習方法等の柔軟な提供や設定を行う。

主体的・対話的
で
深い学び

自己決定の場の提供

学習において自ら考え、選択し、決定する、発表する、制作する等を体験する

個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実

安全・安心な風土の醸成

一人一人が、個性的な存在として尊重され安全かつ安心して教育を受けられる

5月に各学校に配布した「令和6年度『自立した学習者』を育成するための授業改善チェックシート」は、教科のねらい（本時の目標）を達成し、子どもが確かな学力を獲得するために、「教科の本質に迫る単元、題材構成」「自ら学びを調整する振り返りの充実」「ICTを活用した学びの環境整備」「指導と評価の一体化による指導方法の工夫・改善」の4つにポイントを絞って示しています。先日訪問した学校では、全職員が、このシートを基に、日々の授業改善に向けた具体的な取組みを考え、実践してくれていました。

授業における「生徒指導の実践上の視点」（自己存在感の感受、共感的な人間関係の育成、自己決定の場の提供、安全・安心な風土の醸成）については、E-NEWS むらやま第 267 号（表面）に、具体的な例が記載されていますので、参考にしてみてください。

一人一人の子どもを主語にした授業を、計画・検討する際や授業の中で、または見直す際にぜひ御活用ください。

関連資料はこちらから

